

2024.5.1発行

伊豆市【No.80】

議会だより

笑顔あふれる春の訪れ

本号の
ポイント!

令和6年度当初予算 p4
税金の使い方は?

◀裏面に表紙紹介あり!

撮影・タイトル 伊豆総合高校 写真部 2年 すぎやま るな 杉山 瑠菜さん

議案一覧 『議会は全会一致で可決・同意』

※詳細はホームページをご覧ください
録画配信はこちら▶



報告	専決処分の報告について ・市有財産の管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定 ・地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 ・伊豆市地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部改正 ・伊豆市給水条例の一部改正 ・工事請負契約の変更 【2件】
予算	令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第7回） 令和5年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回） 令和6年度伊豆市予算 ○一般会計予算 ○各特別会計予算 ・公共用地取得事業・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・7財産区 ○各事業会計予算 ・水道事業・温泉事業・下水道事業
条例	伊豆市公共施設等管理基金条例の制定について 伊豆中央道・修善寺道路回数券購買基金条例の廃止について 伊豆市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について 伊豆市財産区管理会条例の一部改正について 伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について 伊豆市手数料徴収条例の一部改正について 伊豆市介護保険条例の一部改正について 伊豆市漁港管理条例の一部改正について 伊豆市土肥温泉事業の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例の制定について 工事請負契約の締結について 工事請負契約の変更について 伊豆市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について 伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について 伊豆市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について 伊豆市税条例の一部改正について
その他	財産の取得の変更について 公の施設の指定管理者の指定について（修善寺温泉管湯） 伊豆市伊豆の国市外1組合公平委員会委員の選任について 伊豆市教育委員会委員の任命について 7財産区管理委員の選任について（持越、市山、門野原、吉奈、月ヶ瀬、田沢、矢熊）
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について
発議	伊豆市における重症心身障害児の福祉サービスの拡充に関する意見書 重症心身障害児の福祉サービスの拡充に関する意見書

令和6年伊豆市議会

1月臨時会

会期：令和6年1月23日（火）

「令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第6回）」
「伊豆市松原公園条例の一部を改正する条例の一部改正」

物価高騰対応給付金等の繰越明許費
津波避難複合施設の工期延長

津波避難複合施設建設現場

3月定例会

会期：令和6年2月15日（木）～3月13日（水）

◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
2/12	13	14	15 本会議初日 全員協議会	16 全員協議会	17	18
19	20 本会議2日目 (一般質問)	21 本会議3日目 (一般質問)	22	23	24	25
26	27 議会運営委員会 本会議4日目 (議案質疑)	28 連合審査 (総務経済委 員会所管分)	29 連合審査 (教育厚生委 員会所管分)	3/1 総務経済委員会	2	3
4 教育厚生委員会	5	6	7	8	9	10
11	12	13 議会運営委員会 本会議最終日 各常任委員会 議会広報委員会	14	15	16	17



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載
アクセスはこちら▶



要チェック議案

- ・議案第3号 令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第7回）
- ・議案第5号 令和6年度伊豆市一般会計予算

令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第7回）

詳細 ※1万円未満は切り捨て

諸支出費：基金費 **【9,706万円】**
(減債基金積立金の増、公共施設等管理基金積立金 他)

民生費：社会福祉総務費 他 **【1,038万円】**
(社会福祉総務費、心身障害者福祉費 他)

総務費：戸籍住民基本台帳費 **【266万円】**
(戸籍附票システムの改修に係るシステム改修委託料の増)



2/28・29

連合審査



令和6年度伊豆市一般会計予算

質疑

(総務経済委員会所管)

Q 市営住宅管理事業で、能登半島での地震のこともふまえて、予算の中で移住政策や、災害対応の政策空き家などの改修工事を行うか。また、どのぐらいの規模を用意し、部屋数はいくつか。

A 政策空き家は、定期的に県から入居できる戸数の照会があります。修善寺地区に何戸か確保はあり、実際の入居時に修繕等を行います。

Q 防災対策事業で、能登半島地震を受け、計画の見直し等も行われると思うが、現在策定済みの地区は何地区か。

A 土肥を先行に計画を推進し、7地区の地区防災計画が完成しています。

来年度も、地区防災計画の策定を計画し、2地区の作成を予定しています。



Q 包括的施設管理事業は、1億3940万円の計上があり、前年度予算の1億2800万円より、1000万円程度増額している。施設は全年度94施設から、87施設に減少しているが、予算を増額する理由は。

A 施設の統廃合等で、施設の数には減っていますが、業務内容の適正化や、人件費等の高騰、物価の上昇などで委託料が増加しました。

質疑

(教育厚生委員会所管)

Q 8つの放課後児童クラブのそれぞれの要望箇所に対する、工事内容は。

A ご要望いただいた中で、特に必要な箇所の工事・修繕を予算化しました。くまっこクラブはエアコンの取り換え、天城放課後児童クラブは、エアコンの取り換えと女子トイレ洋式化、だるまっこクラブは、エアコンの取り換えと手洗い修繕、こひつじ園は畳替え修繕、といっこクラブは網戸の取り付け修繕を予定しています。

Q 中伊豆小学校基本設計業務委託料は、令和9年度開校を目指した予算か。

A 令和9年度を目指している。



Q 令和6年度予算に、ゼロカーボン戦略の取り組みを推進するための新規事業はあるのか。

A ※ゼロカーボンの新規事業は、宅配ボックス導入助成事業補助金、省エネ診断助成事業補助金、リサイクルアプリ利用講習会委託料の3件です。

※ゼロカーボン補助金の詳細は、広報いずの4月号に掲載しています。

令和6年度当初予算

税金の使いみちは?!

何に使う?



◆『市政20周年』合併の総仕上げのための予算編成

全会計357億3,400万円の予算を可決
(一般会計:244億800万円)

令和6年度各会計総括表

会計名	5年度予算額	
一般会計	244億800万円 ☆	
特別会計	公共用地取得事業	83万円
	国民健康保険	39億600万円
	後期高齢者医療	6億円 ☆
	介護保険	38億1,420万円
	財産区(7財産区)	624万円
企業会計	水道事業	10億2,758万円
	温泉事業	1億2,420万円
	下水道事業	18億2,488万円

合併の総仕上げ

○市政20周年となる令和6年度は、新市建設計画に基づくまちづくりの総仕上げの年となり、過去最大の予算規模となる。
○令和7年度以降は合併特例債の発行ができず、予算規模の縮小が見込まれる。

第2次伊豆市総合計画後期基本計画に基づき、「安全・安心なまちづくり」「少子化対策」「移住定住施策」の継続など重点的に推進しつつ、持続可能な市政運営に向けて取り組む。

☆伊豆市合併以降で最大の予算規模

令和6年度重点事業

市民(いのち)を守るまちづくり
【総事業費8億9,032万円】

2035年±5年には発生するといわれている南海トラフ地震に備え、「死者ゼロ」を目指した取り組みを重点的に推進していく

○防災拠点の整備 ○避難対策の推進

◆重点目標ごとの注目事業

- 伊豆中学校整備事業、医療相談アプリ導入事業
- リサイクルセンター整備事業、ゼロカーボン推進事業
- 森林環境譲与税活用事業、Izu Wasavisitor Center活用事業
- 移住定住促進事業、市政20周年記念事業
- 交通利用助成事業、狩野川記念公園魅力化事業
- ふるさと納税促進事業、中伊豆内温水プール長寿命化改修事業



(仮)日向公園完成イメージ



ワサビジターセンター



狩野川記念公園完成イメージ





2/27, 3/1・2

議案質疑 常任委員会

◆令和6年度一般会計予算
質 疑

Q 20周年事業の基本理念と、イベント内容は

A 基本理念は、伊豆市の成人式・旧4町の卒業式です。20歳を迎え、旧4町の枠組みを超えて、改めて一つになるきっかけ作りをしたいと考えています。

本事業は、各部署が実施を予定する、20周年関連事業を集約したものです。大きな分類としては、①4大フェス（イベント）開催②伊豆の国市との共催事業③その他のイベント④記念物品の制作です。



Q 令和6年度当初予算に込めた市長の想いを問う

A 総合計画に位置付けた目標を達成するために、必要な事業予算を編成しました。その中で、「市民を守らなければ次のまちづくりはできない」という強い想いから、いざれ発生すると想定される南海トラフ巨大地震においても、死者ゼロを目指した「市民（いのち）を守るまわりづくり」をソフト・ハード両面で推進する取り組みを、重点事業として位置づけました。

Q 伊豆中学校整備事業の学校再編記念事業補助金とは何か。

A 中学校が統合により閉校となる際に、閉校記念事業を行う団体に対して交付する補助金です。対象経費は、閉校記念誌を発行する経費の他、実施団体が特に希望する事業に必要な経費で、市長が承認した経費と定めています。

◆伊豆市公共施設等管理基金条例の制定について
質 疑

Q 市が保有する公共施設及びインフラ資産を統廃合、長寿命化及び除却費用の基金を創設するとしているが、基金規模の適正値は。

A 令和7年から10年にかけて施設の長寿命化事業や解体事業に約18億円程度の事業費を見込み、補助金等を除き、毎年1億円程度必要です。1億円を目標に、基金に積み立てます。



議案質疑

総務経済委員会

◆令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第7回）
質 疑

Q 繰越明許の萬城の滝キャンプ場管理事業費5769万円は、どいう工事を行うのか。

A 駐車場整備工事と展望デッキ設置工事を行います。



萬城の滝展望デッキ完成イメージ

◆伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

質 疑

Q 消防団員の補償額決定が、わずかだが待遇改善になるとのことだが、団員への周知はどうするか。

A 本部会議、方面隊会議を通じて、各分団へ周知します。

質 疑

◆工事請負契約の変更

Q 松原公園の津波避難複合施設は、7月には完成するのか。

A 海開き前の完成を必ず目指して、工程管理をしっかり行います。

質 疑

◆公の施設の指定管理者の指定

Q 修善寺温泉浴場の指定管理期間を3年にした理由は。

A 料金改定をしたことや、観光協会修善寺支部の職員体制の変更もあり、ようすを見る意味で3年間としました。

教育厚生委員会

◆令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第7回）
質 疑

Q 新中学校建設工事全体の進捗状況は。

A 天候の不順で多少遅れている部分がありますが、順調に進んでいます。



※伊豆中学校建設現場

◆令和6年度伊豆市介護保険特別会計予算
質 疑

Q 認知症対策事業の内容は、認知症カフェの補助金ということだが、すでに補助金を利用して事業を始めている場所は何件か。また、来年度の立ち上げは何件あるか。

質 疑

A 現在、認知症カフェは、4件が活動をしています。その内、補助金申請は1カ所です。来年度の補助金活用状況は未定です。認知症カフェの新規立ち上げは未定です。

◆伊豆市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防の効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

Q 省令の改正に伴った市の条例改正だが、地域包括支援センターのサービスに関わる現状と、具体的にどのように変わるのか説明を。

A 地域包括支援センターは、高齢者や認知症の増加により、業務が多忙になっています。条例改正により、市が直接居宅介護支援事業所を指定して、支援ができるようになるため、地域包括支援センターの業務軽減を見込んでいます。



！ 委員会の概要書はこちら▶

討論

◆令和6年度伊豆市一般会計予算

賛成討論 ◆黒須 淳美 議員

伊豆市は令和6年4月に、市制20周年を迎えます。令和6年度一般会計予算は、20年取り組んだ新市建設計画に基づくまちづくりの総仕上げの年であり、予算総額244億800万円で、合併以降最大となります。伊豆中学校、リサイクルセンター、松原公園津波避難複合施設などが完成の予定で、その後は合併特例債が発行できないため、予算規模の縮小が見込まれます。持続可能な市政運営のためには、車の両輪である安定した歳入の確保と、徹底した歳出の抑制があつてこそ、実現できるものと考えます。

本予算は、合併後の大型事業を成し遂げ、伊豆市の将来を見据えた予算が組まれていることを認め、賛成討論といたします。

討論は4件（賛成のみ）ありました。詳細は3月13日の録画配信をご覧ください。

質問 Question ドローン技術のさらなる活用は



小長谷 順二 議員

能登半島地震では、多くの道路が寸断され、孤立した集落等の被災状況の確認や、迅速に救援物資を届けられるかが課題となりました。

ドローンはテクノロジー技術の向上で、迅速な災害対応や、自治体が抱えるさまざまな課題を解決する役割を果たす可能性は十分にあります。当市の災害対策等へのドローンの活用について伺います。

答弁

能登半島でドローンにより食料を運搬したとの報道があり、とても勇気づけられました。船原峠を越えられない場合、月ヶ瀬あるいは天城ふるさと広場から、あるいは海上の艦艇からドローンで土肥地区に物資を輸送できる可能性をみました。また、地震と津波が収まった後、土肥分校グラウンド等から小土肥や小下田に物資輸送できるかも知れません。

さらに、台風や豪雨後の情報収集、伊豆でも確認された熊の移動状況、生体反応を調べることで山岳遭難者の捜索など、様々な活用できると期待しています。



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 「災害死者ゼロ」実現のための課題と対策



鈴木 正人 議員

「能登半島地震」を踏まえ、市民の防災意識は、今後発生の公算が大きい「南海トラフ巨大地震」への備えと併せて高まっていると考えます。5期目を目指す市長は、「災害死者ゼロ」を目指すとしていますが、現状の課題と、その解決のために何が必要と考え、どのように市民と認識を共有していけるのか伺います。

答弁

災害死者ゼロを実現するためには、何といつても「避難」です。台風や豪雨などは事前に予測できますから、避難先として過ごしにくい広域避難所とは別に、自宅近くで一晩二晩過ごすことのできる自主避難所を多く用意したいと考えています。

問題は古い家屋の倒壊。子どもも孫も都会に出ているし、耐震にはお金がかかるから私はここで死んでいくではなく、ひとり暮らしのお年寄りも生き延びること、地域の役に立つことができず。そのため、可能な限り安いコストで、家屋の耐震化を実現しなければなりません。



動画はこちら

質問 Question 『子育て全力宣言伊豆市』を問う



三田 忠男 議員

東海バス、市役所公用車等『子育て宣言伊豆市』ロゴが非常に目立ちます。これは「伊豆市で産まれた子、伊豆市で産み育てたい親、移住希望者の親子に対して、発育の遅れや医療的ケアを要する等特別に配慮を要する子どもと親御さんも分け隔てなく全力で応援します」と宣言したのですか。

答弁

身体や精神の障害、家庭の貧困などハンディキャップのある子どもたちが、それによって教育の機会を失うことは許されません。憲法26条に「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。」と規定されています。問題はその「能力に応じて」をどう判断するかです。ケースバイケースの対応になりますので、様々な選択肢を柔軟に運用することになるかと思えます。



動画はこちら

市政を問う
～一般質問～

12月定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。

録画配信へ

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

質問 Question 命を守る防災対策の強化を



杉山 誠 議員

能登半島地震では最大震度7が観測され、大きな災害となりました。能登半島と似た地形や環境にある伊豆半島では、想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、対策を強化する必要があります。市長はこれまで自然災害における死者ゼロを目指すことを繰り返し表明してきましたが、どのように進めますか。

答弁

このたびの能登半島地震は、まさに明日の伊豆半島の姿です。南海トラフ巨大地震は、2030年代半ばに発生する公算が高いと言われており、何としても防災対策を強化しなくてはなりません。

家屋の耐震化は、全体の耐震、一部屋耐震、ベッド耐震など、単身高齢者でも、実行可能な具体策にまで広げて推進すべきと考えており、なるべく早期に、土肥地区でモデル事業を行いたいと思います。



動画はこちら



浅田 隆二 議員

質問 Question 火災予防と循環型社会によるブランド化

令和3年に「火災予防と循環型社会の構築」という一般質問をし、落葉、枯枝や剪定枝の野焼きにより多発する火災の防止と、粉砕した剪定枝や枯枝を畑にまき肥料とするため、木材粉砕機購入補助制度の提案をさせていただきました。その後の経過をお伺いします。

答弁

アンケートを農業者中心に実施しました。木材粉砕機を活用したい方は約500件で、その内、借用して活用したい方が約320件あり、機器のレンタル制度を検討しましたが、いくつかの課題があり、制度の制定には至りませんでした。また、「グリーンセンターいずみ」で家庭からの剪定枝の受入れを開始し、一定量の持ち込み実績がありましたので、家庭ごみの減量化の意味で、今後、粉砕機等を所有する地域づくり協議会の事業との連携や、機器の補助制度について、引き続き検討していきたいと考えています。



動画はこちら

質問 Question 小・中学校の女子トイレに生理用品を



小川 多美子 議員

生理は、女性の健康や尊厳にかかわる重要な課題です。トイレに行けば、無償でトイレトイレットペーパーが使えます。同様に、トイレに行けば無償で使える生理用品がある環境を求めます。以前この質問をしたとき「学校の状態を把握した上でよりよい方法で検討をしていきます」との答弁がありました。どのような検討結果になりましたか。

答弁

令和4年度の11月から3月まで、試験的に修善寺中学校のトイレに生理用品を置きました。一定の効果はあったものの、どういった理由で持って行ったかが分からず、生徒の実情が把握できずに不安が残るものとなりました。市としては、児童・生徒の実態を把握し支援する機会と捉え、保健室での配布を進めていきたいと考えています。困ったことを困ったといえる児童・生徒を育てていくことも、主体的に生きていく力を身につけていく点において重要であると考えています。



動画はこちら

質問 Question 大規模災害発生時における被災者の食事確保



飯田 大 議員

能登半島地震では多くの人的、物的被害が報告されました。被災され、亡くなられた200余名のうち、低体温症・凍死された方が32名と体力の消耗から命を亡くされた事例が見られました。尊い命を守るため、被災後の生命維持に最も大切な栄養補給は欠かせません。災害時における、食事や飲料水に関する備えと対応策について伺います。

答弁

防災倉庫に食料約3万7000食を備蓄。要配慮者への食事は非常用の介護食として、おかゆや体を温めることのできる汁物、おかず（ユニバーサルデザインフード）、乳児用液体ミルク、食物アレルギー対応食などを毎年定期的に購入し更新を行います。配慮が必要な方には個別避難計画に食事情報を記入しています。飲料水は500mlを1万2000本、そのほか1.5リットル、2リットルのペットボトルを備蓄しています。これら飲料水のほか、使用可能な水道施設から給水を行う計画です。一部避難所には浄水装置を配置しています。

※ユニバーサルデザインフード…日常の食事から介護食まで幅広く使える、食べやすさに配慮した食品



動画はこちら

質問 Question 大型事業完了後の伊豆市の未来づくり



山下 祥二 議員

文教ガーデンシティ構想が否決されてから7年が経過しました。その後大きく遠回りをしながらも、あと数年で修善寺駅周辺にひとつのコンパクトタウンが実現します。大型事業が完了したその後、10年20年先を見据えた持続可能なまちづくりは、現状の伊豆市の課題を超えて、どのような未来を理想像としているか伺います。

答弁

20年後の伊豆市は、修善寺駅及び牧之郷駅周辺は都市整備がなされ、土肥、天城、中伊豆、は小規模ながら充実した教育が魅力となり、学校周辺には一定の集落が維持されます。観光は、伊豆市の魅力を最大限にいかし、安全で美味しい地元食材を駆使した「ガストロノミー・ツーリズム」が伊豆半島の売りとして際立っています。さらにアウトドア・レジャーと温泉との相乗効果が十分発揮されます。災害対策も強化され、被害の最小限化と早期の復興が可能となります。そんな伊豆市の未来を理想像とします。

※ガストロノミー・ツーリズム…その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しむ、食文化に触れることを目的としたツーリズム（観光事業や旅行に関する事柄全体）



動画はこちら

議会報告会（みんなで語る会）

ホームページに報告書を掲載 ※市長に報告書を提出しました



本年度の議会報告会は、市内全域の4地区で市民に対し行ってきた議会報告会ではなく、市が掲げる「子育て全力宣言 伊豆市」の応援対象となる、小・中・義務教育学校PTAの役員とママスタッフ、伊豆総合高校の伊豆市出身の生徒に限定し、「みんなで語る会」を座談会形式で開催しました。

※前号で掲載できなかった、伊豆総合高校を掲載

1/22(月)



【議会報告会から 委員長 飯田大】

伊豆市の現状などをパワーポイントで説明したのち、持続可能な伊豆市について伺いました。伊豆市の良いところは、自然環境が良い、海がきれい、地域の交流が多く仲が良い、協力的でよい環境であるなどが上げられ、課題として、人口減少、空き家、駅付近の立ち寄り場があるとよいなど、勉学の多忙な高校生に郷土の感想を語っていただきました。4回にわたる「みんなで語る会」に参加いただきました皆様に感謝を申し上げます。詳細は議会ホームページ「みんなで語る会」報告書に記載させていただきました。議会活動の貴重な指針を得ることができました。今後の活動にいかしてまいります。

新 議会モニターのみなさん 1年間よろしくお願ひします!

令和6年2月2日に委嘱状交付式・議会モニター会議を行い、6名(4名は再任)が就任されました。1年間よろしくお願ひいたします。



※委嘱状交付式で撮影



←議会モニター提出意見はこちら

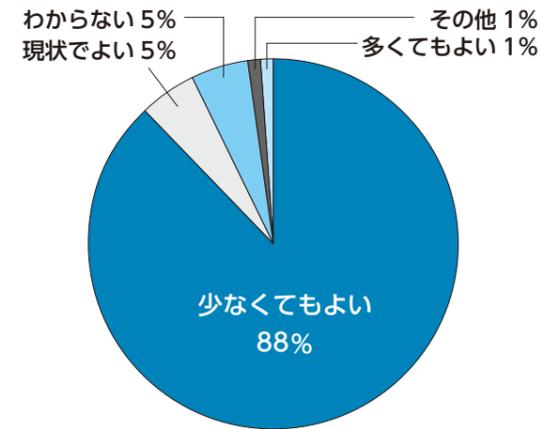
議員定数などに関するアンケート 集計結果

議員定数についてのアンケートを約3カ月間実施し、121件の回答をいただきました。
ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。主な集計結果を公開いたします。

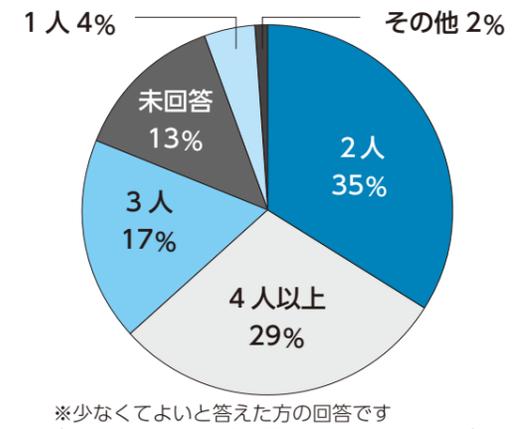


※議員定数アンケート結果はこちら▲

議員の定数 16 人に対して



何人くらいの減が良いか



※少なくともよいと答えた方の回答です(多くてもよいと答えた回答は1件ありました。)

議会広報委員会インタビュー①

～伊豆総合高校「写真部」を訪ねて～



伊豆総合高校 写真部

部長：足立 悠樹
副部長：杉山 瑠菜
顧問：比留間 直人先生

〈男子8名・女子7名〉

←参加してくれた写真部の生徒さん

どのような活動をしていますか

○年3回あるコンクールのために、写真を撮影しています。令和5年度は虹の郷にご協力いただき、撮影会を行いました。

写真部に入ってどうでしたか

○先輩が、カメラの使い方など丁寧に指導してくださり、とても優しいです。
○以前よりも写真をたくさん撮るようになりました。写真部に入って良かったです。
○先輩が、撮影した写真を否定せず、具体的なアドバイスをしてくれたことが嬉しかったです。

市に対して感じることはありますか

○地域の方と交流する場が多く、仲良くなれるところが良い所です。
○路線バスの本数が少なく、昼付近の下校の時は困ることが多いです。
○移動販売が、今よりも多く来てくれると嬉しいです。

議員へ質問

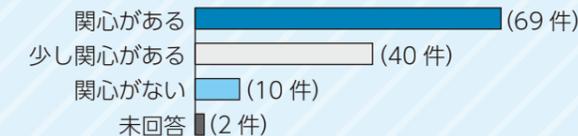
○議員さんたちと交流をして、一緒に写真を撮りたいのですが、そのような機会はありますか？
○委員長：とても良い考えだと思います。広報委員会の中で、前向きに検討します。

【広報委員会から 委員長 間野みどり】

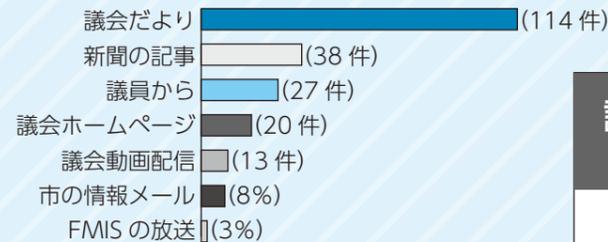
1月15日、静岡県立伊豆総合高校写真部の皆様に、議会だより表紙作成のお願いに伺い、快く引き受けていただきました。また、インタビューもさせていただき、日頃の様子、先輩たちとの交流のこと、伊豆市への思いなど、聞くことができました。

今後も皆様と交流を深め、意見など聞きながら、市民の皆様にわかりやすく、魅力ある議会だよりを作成していきたいと思っています。

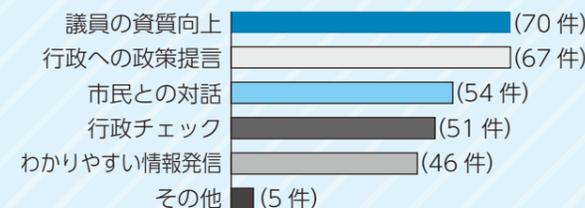
議会活動への関心



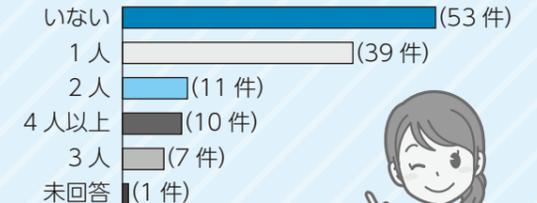
議会活動は何で知る?



議会に期待すること



相談・要望・会話をする議員は?



議員定数についてのスケジュール(予定)

- 3/15(金) 議員定数等アンケート受付終了
- 3/18(月) 議会改革推進特別委員会 【審議】
※議員定数を減らす方向で決定
- 4/10(水) 全員協議会 【報告・協議】
- 4月中 議会改革推進特別委員会 【審議】
- 6月定例会に、発議議案で定数条例改正案を提出する方向で、進める予定です。



表紙写真の紹介!

伊豆総合高校 写真部2年 杉山 瑠菜 さん

この写真には、動物でも人でも"桜"という同じものを共通して楽しめるといった意味が込められています。曇りだったので、桜のピンク色をきれいに出すのが難しかったですが、日光の当たる角度を工夫することで鮮やかさを出しました。

アンケートを実施中!

伊豆市議会だより 検索

アンケート回答フォーム



Webから
アンケート
回答

ここから1分程度の
簡単なアンケート♪



前号アンケートにて、ご意見をいただきましたのでご紹介しします。(※ 回答一部抜粋)



- ・カレンダーに予定が記載され、分かりやすい。
 - ・QRコードが気になる所だけ聞く事が出来て良い。
 - ・行政視察のページは、議員の活動で普段見えない部分を写真で紹介しており、とても良かった。
- (★★★★☆ 30・40代)



(★★★★☆ 60代 チャンプ様)

広報委員会委員から

アンケートにご協力いただき大変にありがとうございます。皆様に親しまれる議会だよりを目指して、これからも充実した内容と、わかりやすい紙面作りに努めて参ります。

6月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
5/27	28 本会議初日 議会広報委員会	29	30	31	6/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17 本会議2日目 (一般質問)	18 本会議3日目 (一般質問)	19 本会議4日目 (一般質問)	20 本会議5日目 (議案質疑)	21 総務経済委員会	22	23
24 教育厚生委員会	25	26	27 議会運営委員会 (予備日)	28	29	30
7/1 本会議最終日 議会広報委員会	2	3	4	5	6	7

3月

議会広報



2月14日の FMIS生放送で、鈴木優治議員が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は5月末に6月定例会のお知らせをします。

編集後記

令和6年の新年は思わぬ能登半島地震に始まり、未曾有の災害をTVやSNS等で見ることになり、私の心に深く刻まれました。

私たちの住む伊豆半島も危機感を感じずにはいられないと、皆様も思ったと思います。日頃からの防災に対する認識を、改めて考え直す機会になりました。近い将来来るであろうと予想される南海トラフ地震へ、今一度皆様と一緒に考えていこうと思っています。

議会広報委員長 間野 みどり

議会傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴ができ、生中継と録画配信も行っています。



▲アクセスはこちら

お問合せ先 (議会事務局)

Tel. 0558-72-9906